

7 番 瀬 戸

おはようございます。

通告順位1、議席番号7、瀬戸伸二でございます。

私は、若い世代の育成とまちづくりについて、御質問いたします。

4月に行われた町議会選挙の候補者の平均年齢は60歳を超えて議会の高齢化も進んでおり、要因として、町の高齢化、若い世代の政治に無関心で興味を持たないことが挙げられると考えられます。

そこで、1点目の質問ですが、町として、若い世代に自分の住む町をどのように理解してもらうか、どのように町政に参加してもらえるか、町長のお考えをお聞かせください。

また、対応策としては、ショッピングセンターやテーマパークのような施設で、若い世代を町に呼び込む必要があるという若い世代の声もあります。私はその考えも一理あると思いますが、町として、箱モノを誘致したり、つくったりした場合、その成否により、町にダメージを与えかねないので慎重に考えなければなりません。しかし、若い世代は町に「目玉となる何か」を求めているのかもしれない。

今町が進める「東山北1000」が目玉かもしれません。向原から岸にかけての繁栄は日進月歩の感があります。また、御殿場線東山北駅前広場の利用もふえていると聞きます。

そこで、2点目の質問ですが、開発計画の中で東山北駅周辺に町営駐車場や民間のコインパーキング等の誘致計画はあるのでしょうか、町長のお考えをお聞かせください。

山北町は過去に「鉄道の町」として栄えていました。平成28年度からは、D52を活用して、鉄道の町のにぎわいを取り戻す取り組みに着手され、町外からも訪れる方もふえているように感じています。

そこで最後の質問ですが、観光の目玉として、御殿場線沿線の市町村と連携し、S Lの御殿場線運行を誘致すべきと考えますがいかがでしょうか、町長のお考えをお聞かせください。

以上です。

議

長

答弁願います。

町長。

町 長 それでは、瀬戸伸二議員から「若い世代の育成とまちづくりについて」の御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の町として「若い世代に自分の住む町をどのように理解してもらうか、どのように町政に参加してもらえるか」についてであります。本町では急激に高齢化が進んでおり、20代から30代の若い世代の割合は約15%となっております。また、町と連合自治会が開催しております座談会への20代、30代への参加の割合は約2%と少なく、若い世代への町政への関心は高いとは言えない状況です。

このような現象は本町に限ったことではなく、我が国が抱える大きな問題の一つになっており、平成28年7月の参議院議員通常選挙から選挙権年齢を18歳に引き下げたことも、その対策の一つであると言われております。

このような状況の中、町では子どもたちが町政に参加する取り組みとして、毎年小学校6年生全員を対象とした山北町子ども議会を開催し、町に対して、さまざまな提案をしていただき、町政に反映しております。

また、若い世代への政治への関心が低い状況の中、山北中学校や山北高等学校での生徒会選挙の際、実際の選挙で使用する投票箱や記載台などを貸し出して、選挙啓発に努めております。

また、本年2月締結いたしました山北町と神奈川県教育委員会との連携と協力に関する協定に基づき、山北高等学校において、本町のことをよく知っていただき、町が抱える課題解決に向けた探求的な学びを行うことで、将来、地域のために活躍し、地域の活性化を実践できる地域人材の育成に資する取り組みを新たに進めているところであります。

そして、私は若い世代の皆さんに町政に関心を持ってもらったり、町をもっとよく知ってもらったりするためには、ホームページやSNSを活用することが一番有効な手法であると考え、昨年度、町ホームページの全面的なリニューアルと町公式SNSとして、ツイッターとインスタグラムを開設しました。町民アンケートでもインターネットを利用している人の割合は、30代以下では、約99%という結果が出ておりますので、町政や地域に関心を持っていただくきっかけになるよう、小まめに情報発信を行っていくことが大切ではないかと考えております。

次に、2点目の御質問の開発計画の中で東山北駅周辺に町営駐車場や民間のコインパーキング等の誘致計画はあるのでしょうかについてであります。初めに、東山北1000まちづくり基本計画とは、東山北町周辺地域において、環境と産業などを調和した暮らしやすいまちづくりを推進し、地域の活力を増進することにより、人口を1,000人程度増加させ、山北町を元気にしたいという思いを込めた計画です。

この計画で定められている東山北駅周辺地域は、豊かな自然環境に囲まれた平坦地が広がる地域ではありますが、人口減少に伴う地域活力や生活関連施設の不足による生活利便性の低下、働く場所の確保や地域内における交通機能の強化など、いくつかの課題があります。このため、土地利用の形態を住宅ゾーン・商業ゾーン・産業ゾーンに区分し、ゾーン別に土地利用方針を定め、さらにこれらのゾーンを結ぶ交通ネットワークの方針についても定めることなどにより、良好なまちづくりの実現を目指すため、町営住宅の再編整備計画や商業施設の誘致、東山北駅前広場の整備などに取り組んでおります。

御質問の「東山北1000まちづくり基本計画」では、町営駐車場の整備及び民間のコインパーキング等の誘致について、具体的な計画はありません。しかしながら、駐車場の整備は良好なまちづくりにつながると考えられることから、民間事業者等から駐車場の整備に関する相談等があった場合には、積極的に協力してまいりたいと考えております。

次に、3点目の御質問の「観光の目玉として御殿場線沿線の市町村と連携し、S Lの御殿場線運行を誘致すべきと考えますがいかがでしょうか」についてであります。御殿場線でのS Lの運行については、これまでのさまざまな場面で議論されてきたところではありますが、J R東海では、一貫して、線路の全面改修が必要になることやS Lの運転免許を持った社員がいないこと、さらにはS L運行に伴う騒音や煙害などの環境面から将来的にも御殿場線でのS L運行は現実的でないという考えを変えておりません。

このようなS L運行に対するJ R東海の考え方や車両運行経費の確保など、さまざまな課題について総合的に考えますと、現状では御殿場線でのS L運行は非常に難しいと言わざるを得ません。このような状況の中で、町が動態

化をしたD52については、町民を初め、多くの方々から軌道延伸についての強い要望があることから、まずは、この起動延伸について実現していきたいと考えております。

なお、町が所有するD52については、平成28年にJ R東海から無償譲渡を受ける際に契約書において、「J R東海の敷地内での走行を一切行わないこと」が条件となっております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 町 長 瀬戸伸二議員。まず最初の人材育成についてなんですが、人材育成というのは本当に難しい問題だと思います。私がもう20年以上前、部下を持ったときに研修で言われた言葉の中で、印象に残った言葉がありまして、人材育成とは農業に似たところがあると。地を耕し、種を植え、水を与え、肥料を与え、花を咲かせ実を実らすと。20年前はそれでよかったと思います。ただ、現在、水を与え肥料を与えても、花さえ咲かせないような人材もふえているということも事実です。

そこで今何が必要なのかと。これは私見でありますけれども、行政の執行の立場からやたらと、こういうことは言えないと思うんですが、町民に希望や勇気、夢を与えるような施策が必要じゃなかろうかと思えます。答弁にもありましたように、ホームページ、SNSという言葉がありましたが、若い世代はSNS、インスタグラムを使うことによって意見を発信するのが得意な世代だと思っております。むしろ山北町のPRに使うには、彼らのその発信が必要かなと思っております。

最初に戻りますが、町長として、夢や希望やそういうことを申し述べれば、きついかもしれませんが、夢や希望を与えるにはどうしたらいいか、お考えでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、我々の一番の目標は、そういった若い世代に夢や希望を持っていただく、また、そのためには自分の町に誇りを持っていただくことが一番大事だというふうに思っております。いろいろな総合計画をつくる時にアンケート等をとりますと、一番町民の皆さん、若い人もお年寄りもそうですけれども、皆さん、自然が豊かでそういった山北町のこういう環境

については、誇りに思っているというようなことはおっしゃっていただけますけれども、逆に、やはり交通インフラ、そういったような問題が常に山北町にとっては、非常にハードルが高い問題でございます。

そういった意味では、東京から80キロぐらいの近さにある、そして、また今度新東名が開通すれば、本当に1時間以内に来れるというような場所でございます。日本全国、さまざまな自治体で、やはり、みんな同じように今瀬戸議員がおっしゃっているように、人口減少あるいはまた若い人たちに、その夢と希望というような問題がクローズアップされておりますけれども、その中で、よく言われるのが山北町の置かれているこの立地条件は、本当にうらやましいと言われております。1時間以内に来れるような、そして、また高速道路が、結局、今3本目があります。ついこの間行かせていただいた村上市でも言われましたけれども、大きな道路は1本も通ってないと。やっと1本通ったぐらいだと。3本目ぐらいを工事している山北町、神奈川県というのは、本当にうらやましいと言われました。

ですから、そのように若い人たちに自分たちが置かれている立地条件、あるいは、そういった山北町のいいところ、また逆に悪いところ、それらを正確に知っていただいて、ぜひとも山北町をこれから何とかしよう。これだけ、ほかから見た場合に、素晴らしいところであるというふうに、ほかの人も言ってくださるところですから、まだまだ伸びしろはあるというふうに考えておりますので、そういった意味では、インスタグラム、あるいはSNSそういったような、いろいろなツールを使って、そういった情報発信をしていきたい。特に感じておりますのは、やはりスピードだと思います。若い人たちのスピードというのは、やはり例えば投稿して、すぐに反応があるかどうか、もうそういったことに非常に関心がある。ですから、質問等をいただいてその返答が次の日になってしまうというのは、若干遅いのかなというふうに思っておりますので、そういったようなスピードに関してどのような手順ができるのか、完全な回答、あるいはその情報をすぐに出すということは、非常に難しいことだと思いますけれども、しかし全てじゃなくても一部なら出せるものについては出すという方法もあるんじゃないかというふうに思っておりますので、そういったことをこれからも検討してまいりたい

というように思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 やはり、山北町にはインスタを上げる場所はいっぱいあると思うんです。そちらの、私の今回の質問のテーマの一つとして、目玉という言葉を使わせていただきました。もっと若者が目玉となるような、若者に目玉となるような施策を打ち出していくべきではなかろうかと、私は思っているんですが、いかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、山北町インスタ映えするような、かつてはユーシンブルーというのも、皆さんから圧倒的な支持を受けたんですけど、ユーシンブルーは、もともとあったわけですけど、気がつくのに、なかなか我々では気がつかなかったというのが、一般の人からいいところだというふうに認められた。それと同じように、山北町さまざまな目玉があると思います。富士山が見えたり、あるいは洒水の滝だったり、丹沢湖であったり、高松山であったり、いろいろなものがいっぱいあるというふうに思っています。

しかし、我々が住んでいる人が、ここがいいところだよと言って、それが若い人たちに支持されるかという、これもちょっと疑問があります。ですから、今私のほうで、その目玉については、ちょうど新東名がありますので、各ゼネコンさんあたりに、ぜひ景色のいいところ、あるいはそういったところ、ぜひ見学場所というんですか、そういったものをちょっとつくってほしいと。例えば10個つくっていただいて、残ったのは3個でも十分だというふうに思っていますんで、そういった意味では、我々が、そこがいいというふうに決めるのではなくて、やはり来ていただく人、あるいは見ていただく若い人たちにこんないいところがあるよということを、ぜひ我々が再発見するような、そんなようなことだというふうに思いますけども、そういったような意味で、目玉がたくさんあると思いますので、そういった意味では、まだまだ我々の力不足というんですか、例えば河村城址にしても、まだまだやらなければいけないこといっぱいあるんですけど、なかなか、それが浸透していかないというのは、我々の歯がゆいところではございますけれども、そういったことでは、今洒水の滝の遊歩道なんかも力を入れておりますので、そ

これらの完成したときには、さらにそういったものが目玉になるのではないか。

またD52も、やはり日本に動くのは1台しかございませんので、そういったほかにはないものを目玉にしていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 続いて、2点目の質問に参ります。

東山北周辺の駐車場計画ということで挙げさせていただきましたが、東山北に限らず山北駅にも駐車場はないわけですよ。公共交通網が山北はすぐれているかという、そうでもない。要するに住民の人は公共交通網よりも自家用車に頼る傾向があるという、私は認識をしておりますが、その上で、ステーションに駐車場がないということだと利便性に欠けると。ぜひとも、山北駅を含めて東山北駐車場計画を考えていただけないかと私は思います。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるとおりだというふうに思っています。駐車場については、東山北にしても、山北駅にしても極論を言えば、谷峨駅でも駐車場がほとんどない状態ですので、やはり、そういった意味では駐車場の確保というのは、非常に大事だというふうに思っています。

駐車場でいったら2つあると思います。一つは、山北の人たちが通勤通学に使う、あるいは買い物等に使うために駐車場が欲しい場合。逆に、ほかから来て、山北町をいろいろ見学したり、いろいろなことをするときに必要な駐車場、この2つの駐車場が必要であろうというふうに考えておまして、一つには、駅周辺に当然必要だろうと。それから、もう一つは観光地に近いところ、例えば大野山の登るときに下に駐車場があったらどうだろう、高松山はどうだろうというような、ある程度、そこまで途中まで車で来て、そこからハイキングしていただくような、そういった駐車場も当然必要ではないかというふうに考えておりますので、それらについては、以前からいろいろな候補地を散策して、いろいろやっているんですけども、東山北については、なかなかわかってはもらえるんですけど、そこから先が、なかなか踏ん切りがつかないということで、特に駅周辺の方については、北側については、もう大分、実際にあいているところが駐車場になっておりますけど、こちらのほうのロータリーのほうの部分については、まだまだ不足していると。

一番近い方からほかの方にも何回もつくってくれないかと。あるいは、町で貸してくれないかというようなお話はしているんですけど、なかなか、そういった踏ん切りが、まだついていないということで、ようやく、クリエイトさんができたり、これから、さらに山北チップの跡地であるとか、そういった問題が解決していけば、さらに駐車場の利用というのもふえるし、また見込みがあれば、民間の方もそういったようなことで応じてくれるだろうというふうに思っておりますので、そういったような総合的な単純に駐車場をつくれればいいということではなくて、やはり駐車場にしてもらったら、全てそこがうまく稼働していくような、そういったようなプランニングも必要だろうというように思っていますので、それらを合わせて駐車場問題には取り組んでまいりたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 ぜひとも、今町長おっしゃったように、駐車場計画については頭の中に入れておいていただきたいと思います。

続いて、3点目の質問なんですが、御殿場線の整備計画という部分で、これ、私が考えたものではなく、先日、参議院選挙が行われたとき、井上よしゆき議員が街頭演説で述べていたんですが、御殿場線にSLを走らせれば、何千何百という観光客も来ると。彼はライフワークにするというような言葉を使っておりました。

これも先ほど言った目玉という部分では、町民、若い世代に目に見えた目玉になるのかなど。町長おっしゃるように、レールが古いとか難しい部分が結構あると思いますけれど、継続して、JRのほうに誘致計画を持っていけたらなと思っているんですが、お考えはいかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 現在、お答えしたとおり、まず延伸、これは、やはり実際に、かつてSLを運転していた方とか、あるいは、それに携わった方の年齢がもう80を超えております。そういった意味では、そういった後継者を育てる、あるいは、運転手をというようなことについては、どうしても、今のうちに早く延伸をして、そういった後継者を育てなければいけないというような気持ちもありますので、また、そういった御提案をいただいているので、まず延伸が第一

ではあろうというふうに思っております。

そして、次の課題としてはおっしゃるように、御殿場線へせめて松田から山北とか、国府津まで平たんなところであれば、可能性はあるのではないかとこのように思っておりますけども。しかし我々も、行政として、J R 東海さんと覚書を交わした件もございます。ですから、個人的には、当然そういったことは、ぜひ進めたいし、また、そういう可能性があるものについては、やりたいという気持ちは多々ありますけども、公式に J R 東海さんに、その話を持ち出すというのは、私からは、ちょっと今のところできないというふうに考えておりますので、そういったことは、いろいろな同好会であるとか、健鉄会、さまざまところの要望を我々が持っていくというような、そんなような手順になるのではないかなというふうに考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 質問は終わらせていただきますが、今回、私が掲げたのは目玉というテーマで質問させていただいております。若者に目に見えた形の目玉を、我々、議員も含めて提供していく必要があるのではなかろうかと思っておりますので、今後また目玉になるような施策を打ち出していただけたらと思います。

以上で終わります。

議 長 町長。

町 長 目玉というのは、やはり、山北町はいいものがいっぱいある。その中で、何を目玉にしていくかというのは、いろいろ、仮にいっぱいある中のどれを選ぶかみたいなことだろうというふうに思います。例えば、本当に S L なら S L というような鉄道のまちというものもございますし、あるいは、またダムを抱えて、ことしから S U P 等も非常に力を入れていこうというふうに思っておりますし、また、いろいろな山岳、山が非常にございますので、その山を使ったさまざまな取り組みというものもあると思います。

ただ、それらを同時にやっていくことが、果たして目玉になるのか、やはり、どれかに特化しながらやらなければいけないのかというような、いろいろな判断がございますけども、基本的には、私は今後新東名が完成したら、スマートインターを使って、やはり東京圏の人たちにアピールできるものが、やはりつくっていかなければいけない。また、情報発信していかなければい

けないというふうに思っておりますので、それらを特に目玉にしたいという
ふうに思っておりますので、まだ構想中でございますので、また次の議員の
質問のときにでも、少しお答えしたいというふうに思っております。